

ブラジル移住100年

### 鳥取県人苦闘の歩み

13

平井 伸治

六月二十一日、サンパウロ市内のサンバ会場にて、皇太子殿下ご臨席の下でブラジル日本移民百周年記念式典が挙行され、私も出席させていただきました。皇太子殿下は祭典でのお言葉の中で、「日系人の皆さんの長年にわたるブラジルでの地道な努力への敬意を日

たつて日本人移住者が築いてきた信用が、この言葉に集約されています。慣れない気候風土、低賃金での重労働、第二次世界大戦中の排斥。「ジャポネース・ガランチード」がブラジル語として定着するまでに、どれだけの汗と涙の苦闘の歴史があったことでしょうか。

取」が根付きつつあることも、現地で実感しました。祭典では、鳥取しゃんしゃん車踊りが披露され、ブラジル鳥取県人会をはじめとするブラジルからの参加者二百人にまじり、鉄水車紀要議会議長、竹内功鳥取市長、民間防衛団などの方々とともに私も参加させていただきました。

鳥取の誇りが、日本からこれほど離れた場所でも広がりにつつあることに、大変感激いたしました。

鳥取県人会の皆さん、母鳥取との絆を持ち続けていたという切実な気持ち伝わってまいりました。

ブラジルは、いわゆるBRICs。(ブリックス)の一角を占める新興工業国です。母国の経済をけん引するのは、航空機などの重工業やエネルギー産業です。広大な土地で栽培されたサトウキビなどを原料とするバイオ燃料の利用が進み、サンパウロ市内ではどのガソリンスタンドでも自動車燃料としてアルコールが売られています。ブラジル南部沖の大西洋では、世界有数の油田の存在が確認されています。今年一三月期の実質国内総生産(GDP)は前年同期比で5.8%増を記録しています。

(鳥取県知事  
おわり)

## 県人会との絆大切に

本人移住者を温かく受け入れてきたブラジル政府およびブラジ国民への感謝を忘れずに、両国が将来にわたって関係を発展させていくことを希望します」と述べられました。

### 次の100年に向けて



サンパウロ市にあるブラジル・鳥取交流センターで開かれたブラジル日本移民百周年記念祝賀会(ブラジル鳥取県人会主催)であいさつする平井知事=6月22日

### 広がる「鳥取」を実感

国際社会での地位を高めつつあるブラジルに、鳥取に思いを寄せ、てくたぐる友人がたくさんいるのは心強いことではないでしょうか。県人会の会員は三百八十家族を数え、本県の在外県人会では最大です。「鳥取村」として知られる第二アリアンサ移住地でも、鳥取に親しみを抱いてくださっている大勢の方に迎えられるでしょう。

県人移住者のご子孫の中には、鳥取を見たことがない方も多くいらっしゃいます。彼ら